【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成25年11月21日(2013.11.21)

【公開番号】特開2012-105563(P2012-105563A)
【公開日】平成24年6月7日(2012.6.7)
【年通号数】公開・登録公報2012-022
【出願番号】特願2010-255441(P2010-255441)
【国際特許分類】
Ａ０１Ｍ　1/02　(2006.01)
Ａ０１Ｍ　1/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ０１Ｍ　1/02　Ｃ
Ａ０１Ｍ　1/00　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成25年10月8日(2013.10.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
以下の構成要素からなる昆虫捕獲装置、
（１）気体を通すが昆虫を通さない容器、
（２）前記容器の上部に設置された蓋、
（３）前記蓋に設置された前記気体と前記昆虫とを通す穴、
（４）前記穴を覆うファン、
（５）前記蓋に設けられた捕獲筒、
（６）前記捕獲筒の内側に設けられ、内側の筒が外側の筒よりも高さの低い二重筒、
（７）前記外側の筒の上部に設置された屋根、
（８）前記捕獲筒よりも高い位置に設置され、前記二重筒をつなぐ連結管、
（９）前記内側の筒を支え、前記外側の筒に囲まれた基台、
（１０）前記内側の筒と前記外側の筒との間の位置で、前記基台に設けられたスルーホール、
（１１）前記連結管の開口部は塞がず、前記外側の筒を覆う熱伝導率の低い層、
（１２）前記蓋の上に設けられ、前記基台を支える支柱、ならびに
（１３）前記内側の筒の内側で、前記屋根よりも低い位置で、前記基台上に設けられた燃焼器具。
【請求項２】
請求項１において、前記燃焼器具が灯油ランタンである昆虫捕獲装置。
【請求項３】
請求項２において、灯油貯留部が前記基台よりも低い位置に設置され前記ファンによって冷却され、異常燃焼を防止できる昆虫捕獲装置。
【請求項４】
請求項１において、前記燃焼器具は灯油バーナーであり、灯油貯留部は前記昆虫捕獲装置と独立して設置され、前記灯油バーナーと前記灯油貯留部とがチューブでつながった昆虫捕獲装置。
【請求項５】

請求項１において、前記燃焼器具は灯油バーナーであり、灯油液面保持機構を有する灯油貯留部が前記昆虫捕獲装置と独立して設置され、前記灯油バーナーと前記灯油貯留部とが可撓性のあるチューブでつながった昆虫捕獲装置。